

平成30年度教育研究活動報告書

氏名	小畑拓也	所属	芸術文化学部日本文学科
学位	博士（文学）	職位	准教授
専門分野	アメリカ文学		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	文章表現法入門、欧米文学概論、欧米文学講義、比較文学、文芸創作入門Ⅰ、欧米文学専門演習a、欧米文学専門演習b、エディトリアルデザイン
大学院	日本文学・言語文化総論
II 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）テクノロジーによって揺れる人間観を中心に据えたSF読解	
（2）テクノロジー、メディア、文学の交点	
（3）娯楽性を中心に考える「文学」の境界線	
本年度を含む過去3年間の研究業績 H30・H29・H28（件数は追加可）	
H30 〈学会発表〉「融合と転生--SF的異類婚姻譚と視覚映像文化の現在」 2018年10月28日 鳥取大学 日本英文学会中四国支部第71回大会シンポジウム「人間性の更新」司会・講師：島克也（安田女子大学）、講師：中山悟視（尚絅学院大学）、講師：小畑拓也（尾道市立大学）、講師：萬屋博喜（広島工業大学） 〈パネリスト発表〉 「合体、変身、進化の行方」 2018年7月21日 水上温泉ホテル聚楽 第57回日本SF大会パネルディスカッション「『視覚映像文化とSF』の部屋--モンスター」 コーディネーター・パネリスト：中垣恒太郎（専修大学）、パネリスト：CJ鈴木（ニューヨーク市立大学）、パネリスト：小畑拓也（尾道市立大学）	
H29 〈パネリスト発表〉 「共生体の時間」（第56回日本SF大会〔2017年8月26日 静岡県静岡市駿河区 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ〕参加のパネル・ディスカッション「『視覚映像文化とSF』の部屋--死／不死」〔コーディネーター・パネリスト：中垣恒太郎（大東文化大学）、パネリスト：イリーナ・オリガ（筑波大学）、パネリスト：小畑拓也（尾道市立大学）〕）	
H28 〈パネリスト発表〉 「最終戦争の向こう側」（第55回日本SF大会〔2016年7月9日・10日 三重県鳥羽市温泉旅館戸田家〕参加のパネル・ディスカッション「『視覚映像文化とSF』の部屋--ポストアポカリプスの風景」〔コーディネーター・パネリスト：中垣恒太郎（大東文化大学）、パネリスト：小畑拓也（尾道市立大学）〕）	
H27以前の主な研究業績（件数は追加可）	
（1）「『ウォルドウ』というメディア——「いま、ここ」にある物語を読む手がかりとしての拡張現実とサイボーグ——」『英米文学の可能性——玉井暉教授退職記念論文集——』（英宝社、2010年3月） 747-758頁 〈論文〉	
（2）「見えないロボット——ハインラインのポストヒューマンな世界」『S-Fマガジン2011年4月号』（早川書房、2011年2月） 217-223頁〈その他〉	
（3）グレゴリー・クレイズ『ユートピアの歴史』（東洋書林、2013年7月 監訳：巽孝之 原著：Gregory Claeys, <i>Searching for Utopia: The History of an Idea</i> [2011]) 本文・コラム・図版キャプション翻訳担当（3-309頁）〈翻訳〉	
（4）『マクルーハンとヴァーチャル世界』（岩波書店、2005年4月）〈翻訳〉	
（5）「タイムマシンとサイボーグ—自己統御幻想とアメリカSF」『尾道大学芸術文化学部紀要3号』（2004年3月） 63-72頁〈論文〉	
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） H28・H29・H30	
所属学会・所属団体 役職等と任期	
日本英文学会、日本アメリカ文学会、大阪大学英文学会、尾道市立大学日本文学会、Science Fiction Research Association	
IV 社会活動	
1. 学外活動（本年度1年間の活動状況）（件数は追加可）	
（1）おのみち文学三昧司会担当（2018年12月8日 しまなみ交流館大ホール）	